

全国数学教育学会 第39回研究発表会 プログラム

日時：平成26年2月1日(土)・2日(日)  
会場：広島大学教育学部・大学院教育学研究科  
(東広島市鏡山一丁目1番1号)

〈第1日〉 2月1日(土) 午後

※1件の研究発表の時間は25分(発表15分, 質疑応答10分)です。  
※液晶プロジェクターはこちらで準備しますが, PCは発表者をご持参ください。

■ 研究発表 (13:30~16:30)					
	A会場 (L102講義室)	B会場 (L104講義室)	C会場 (L204講義室)	D会場 (L205講義室)	E会場 (L206講義室)
①13:30 ~ 13:55	西垣喬志(岡山大学大学院生) 問題解決を数学的概念へ高めるプロセスと手段に関する研究—論証過程に現れるメタ認知と図式的推論を手掛かりとして—	久富洋一郎(広島大学大学院生・広島県立呉宮原高等学校) 高等学校数学における理解を深めるための指導方法に関する研究(Ⅲ)—確率学習における「同様に確からしい」ことを重視した授業構成—	玉木義一(鳥取大学大学院生) The Rational Number Projectの変遷と課題—その理論枠組みに焦点をあてて—	陣内智子(鳴門教育大学大学院生) ・坂井武司(鳴門教育大学) 数学教育における論理的思考に関する研究	大地孝宏(愛知教育大学大学院生) 数学教育におけるコンテキストに関する一考察
②14:00 ~ 14:25	竹間光宏(奈良教育大学大学院生) 中学校数学におけるメタ認知の強化と発展に関する一考察	瀬川慎司(広島大学大学院生・広島県立総合技術高等学校) 高等学校数学における数学的活動を生かした授業づくりに関する実践研究(Ⅱ)—統計的リテラシーの育成を目指した数学I「データの分析」の課題学習—	吉村直道(愛媛大学) 協調的な学力の育成を目指した数学学習の実践研究—「見つめ考え議論する」学習を通して—	和田信哉(鹿児島大学) 加法と減法の相互関係の授業に関する研究—代数的推論の観点から—	井口浩(新潟大学教育学部附属長岡中学校)・岩崎浩(上越教育大学) 「三角形の内角定理」の証明の必要性を触発する授業デザインの開発研究—証明の機能, 特に「体系化」を視点として—
③14:30 ~ 14:55	亀田亮(埼玉大学大学院生) 子どもの数学的信念に関する研究	生田直子(広島大学大学院生) 中学校数学科における対話を重視した問題解決の力の育成に関する研究—授業実践を通して見えた対話の意義—	渡邊慶子(滋賀大学) 「誤り分析」をとり入れた数学科授業に関する一考察—Borasi, Rの“The Taxonomy of Use of Errors as Springboards for Inquiry”の批判的考察を通して—	渡邊正樹(上越教育大学大学院生)・横尾研一(上越教育大学大学院生)・阿部朋広(上越教育大学大学院生)・桑畑和弥(上越教育大学大学院生)・岩崎浩(上越教育大学)・松沢要一(上越教育大学) 小学校教師の専門的知識としての「帰納」に関する研究	平山成樹(広島大学大学院生) 高等学校数学における探究的な学習活動を促す指導方法に関する研究(Ⅰ)—問題設定を生かした「対数関数」の学習指導を通して—
《 休 憩 14:55~15:05 》					
④15:05 ~ 15:30	藤本義明(愛媛大学) 新道具主義数学教育における情意面の指導の枠組み	佐藤吾朗(北杜市立甲陵高等学校) 開発途上国の小学生の計算力向上—6ヶ国での計算力調査と教材開発—	山本文隆(長崎県立小浜高等学校) 四色問題の簡易証明に挑む。ケンペ5集点問題を<独立2色法(仮称)>で証明できるか。	両角達男(横浜国立大学)・佐藤友紀晴(静岡市立安倍口小学校) 発表題目:子どもの「問い」を軸とした算数授業における議論と教師の判断—「クラス文化」で育まれる規範に着目して—	早田透(広島大学大学院生) 数学学習における一般化の機能に関する一考察
⑤15:35 ~ 16:00	小浦正寛(兵庫教育大学大学院生) 数学的モデル化における事象の幾何学化に関する研究	新井美津江(広島大学大学院生) フィリピン児童の有する図形概念の形成初期における困難性	松本寿男(長崎県立島原高等学校) 切断による4次元の考察	紙本裕一(広島大学大学院生) 算数・数学教育における子どものリスニングの基礎研究	池上陽人(埼玉大学大学院生) 算数・数学の研究授業における参観教師の視点と協議会の内容分析
⑥16:05 ~ 16:30	將基面裕介(広島大学大学院生) 中学校数学科授業における学習意欲を高めるための指導方法に関する研究(Ⅲ)—生徒とミリュー(milieu)の相互作用から生じる疑問を取り入れた授業実践—	ミグダリスキー・ウラディーミル(京都大学) 国際コースにおける数学教育の現状と将来	渡辺信(生涯学習数学研究所/公益法人日本数学検定協会) 数学は文化理解に先行する—ピカソ絵画の美の解釈—	北川禎(上越教育大学大学院生)・加藤貴子(上越教育大学大学院生)・寺井宏太郎(上越教育大学大学院生)・岩崎浩(上越教育大学) 子ども主体の算数授業の質的变化を促す要因—S教諭との長期にわたる授業改善の取組を通して—	片野一輝(新潟大学大学院生) 算数教育におけるパフォーマンスの構造化に向けて:数学化のプロセスにおける授業分析を通して
《 休 憩 16:30~16:40 》					
■ 開会行事・総会・学会賞授与式 (16:40~18:15) D会場 (L205講義室)					

■ 懇親会 (18:30~20:30) 会場: HAKUWAホテル (東広島キャンパス 広大郵便局前)

〈第2日〉 2月2日(日) 午前

■ 研究発表 (9:00~9:55)					
	A会場 (L102講義室)	B会場 (L104講義室)	C会場 (L204講義室)	D会場 (L205講義室)	E会場 (L206講義室)
⑦9:00 ~ 9:25	田中雄太(兵庫教育大学大学院生) 算数科における「説明する力」の育成に関する研究	後藤佳太(広島大学大学院生) 数学学習におけるアブダクションに関する研究(I)ー仮説形成の基準に焦点をあててー	大谷洋貴(新潟大学大学院院生) 統計の学習プロセスに関する研究	的場大佑(広島大学大学院生) 数学科における「関心・意欲・態度」の評価の在り方(I)ー評価すべき情意とその意義についての考察ー	太田誠(兵庫教育大学大学院生)・岡崎正和(岡山大学) 見通しを軸にした自律性の育成に関する研究ーRPDCAサイクルを活かした算数の学びー
⑧9:30 ~ 9:55	大橋健司(広島大学大学院生) 数学教育における表現力の育成方法に関する研究ー生徒の「数学的表現力」の特徴とその育成方法の提言ー	岡崎正和(岡山大学)・小野田愛(岡山大学大学院生) 関数学習における記号論的変換プロセスに関する研究ー概念ブレンドの理論を基にしてー	福田博人(広島大学大学院生) 統計教育に関する教授単元の開発研究ー意思決定能力育成へ向けた批判的思考を促す教授単元の提示ー	中西隆(広島大学大学院院生) 高校教育における数学的文化化についての研究(1)ー予備的考察ー	橋本善貴(新潟市立藤見中学校) 数学的リテラシー育成という視点からみたモデル導出活動
《 休 憩 9:55~10:10 》					
■ シンポジウム (10:10 ~ 12:10) D会場 (L205講義室)					
<p>日米比較：算数・数学教育における『教材研究』とは何か</p> <p>司 会 : 飯田慎司先生 (福岡教育大学)</p> <p>シンポジスト : 高橋昭彦先生 (DePaul University) Andrew Friesema 先生 (Dr. Jorge Prieto Math and Science Academy) 加藤久恵先生 (兵庫教育大学) 前田一誠先生 (広島大学附属小学校)</p> <p>総 括 : 植田敦三先生 (広島大学)</p>					
《 昼 休 憩 12:10~13:10 》					

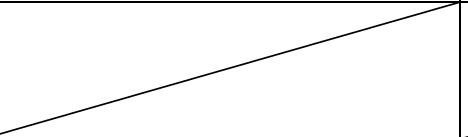
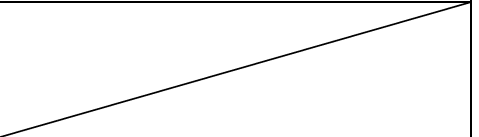
〈第2日〉 2月2日(日)午後

■ 研究発表(13:10~16:40)

	A会場〈L102講義室〉	B会場〈L104講義室〉	C会場〈L204講義室〉	D会場〈L205講義室〉	E会場〈L206講義室〉
⑨13:10 ~ 13:35	高阪将人(広島大学大学院生) 理科と数学の関連性についてーザン ビア共和国を事例としてー	Orlando Gonzales(Graduate School, Hiroshima University) Examining Venezuelan Secondary School Mathematics Teachers' Statistical Knowledge for Teach- ing: Focusing on the Instruction of Variability-related Concepts	長谷川献祐(兵庫教育大学大学院生) 小学校算数科における文字の学習指 導に関する研究ー変数としての認識 を中心にー	山口武志(鹿児島大学)・中原忠男 (環太平洋大学)・小山正孝(広島大 学)・岡崎正和(岡山大学)・吉村直 道(愛媛大学)・加藤久恵(兵庫教育 大学)・脇坂郁文(鹿児島大学)・沢 村優治(鹿児島市立田上小学校) 多世界パラダイムに基づく算数授業 における社会的相互作用の規範的 モデルの開発研究(Ⅲ)ー第4学 年「分数」の授業による検証ー	清水邦彦(立教新座中学校・高等学 校) 数学教育における真実性の一考察 ーこれまでの研究を振り返ってー
⑩13:40 ~ 14:05	赤井秀行(鳴門教育大学大学院生) ザンビア農村部基礎教育における計 算のつまづきに関する分析と考察ー カリキュラムとの関係に注目してー	Wensheng Jia (Graduate School, Hiroshima University)・Masataka Koyama(Hiroshima University) A model of the roles and relationship between students and teachers in the task-based learning mathematics	秋田美代(鳴門教育大学) 数学の理解における関係の表象の役 割に関する研究	真野祐輔(大阪教育大学)・宮川健 (上越教育大学)・岩崎秀樹(広島大 学)・國宗進(静岡大学)・溝口達也 (鳥取大学)・石井英真(京都大学)・ 阿部好貴(新潟大学) 中等教育を一貫する数学的活動に基 づく論証指導カリキュラムの開発研 究ー局所的組織化を捉える理論的枠 組みの設定ー	三野英利(兵庫教育大学大学院生) 算数科授業における創発に関する研 究ー創発の捉え方についてー
⑪14:10 ~ 14:35	石井洋(広島大学大学院生) ザンビア数学教師の授業実践の変容 に関する研究(1)ー授業研究にお ける教師の教科内容の知識に着目し てー	Uwingabire Immaculee (Graduate School, Hiroshima University) Analysis of Multiple Representa- tions Used by Rwandan Primary Teachers in Mathematics Lessons: Case Study of Kigali City	木根主税(宮崎大学)・添田佳伸(宮 崎大学)・藤井良宜(宮崎大学)・川 口直(宮崎大学)・甲斐淳朗(宮崎大 学教育文化学部附属小学校)・齊藤 正行(宮崎大学教育文化学部附属小 学校)・河野和寿(宮崎大学教育文化 学部附属小学校)・河野和弘(宮崎大 学教育文化学部附属中学校)島崎賢 司(宮崎大学教育文化学部附属中学 校)古川宏之(宮崎大学教育文化学部 附属中学校)有川亮平(宮崎大学教育 文化学部附属中学校)小川浩明(宮崎 大学教育文化学部附属中学校) 算数・数学教育における小中一貫教 育支援プログラムの開発と実践(3) ー「乗り入れ授業」の比較に基づ く小・中学教師の授業実践の考察ー	加藤久恵(兵庫教育大学)・中原忠男 (環太平洋大学)・小山正孝(広島大 学)・山口武志(鹿児島大学)・岡崎 正和(岡山大学)・吉村直道(愛媛大 学)・植田悦司(加東市立滝野東小学 校)・有吉克哲(兵庫教育大学附属小 学校) 多世界パラダイムに基づく算数授業 における社会的相互作用の規範的 モデルの開発研究(Ⅳ) ー第5学年「単位量当たりの大き さ」の授業による検証ー	天野秀樹(広島大学附属東雲中学校) 数学教育における空間観念の育成に 関する研究(2)ー見取図の役割に着 目してー
⑫14:40 ~ 15:05	渡邊耕二(広島大学大学院生) 開発途上国における数学の認知的側 面と情意的側面の関連性に関する 研究ーPISA2003の二次分析を通じて		師岡洋輔(埼玉大学大学院生) 問題設定へとつながる問題解決学習 に関する検討(4)ー問題設定と不 均衡に焦点を当ててー	中村圭貴(上越教育大学大学院生) ・宮川健(上越教育大学) 教授工学の視点からみた理論と実践 の往還ー三角形の決定条件を事例に	西村徳寿(兵庫教育大学大学院連合 院生) 中学校における解析幾何的手法を考 慮した指導に関する研究

《 休 憩 15:05~15:15 》

〈第2日〉 2月2日(日)午後 つづき

<p>⑬15:15 ～ 15:40</p>	<p>常安智也(広島大学大学院生) 「数学的な考え方」に見る我が国の算数教育の歴史の変遷ーオープンエンドアプローチ研究が与えた影響に焦点を当ててー</p>	<p>野原将宏(大阪教育大学大学院生) 高校数学における記号的表現の具象化に関する研究ー対数学習の操作的基盤のための教材構成ー</p>	<p>五十嵐慶太(上越教育大学大学院生)・宮川健(上越教育大学) 標本の大きさに関する問題における確率的・統計的思考ー病院の問題を例にー</p>	<p>二宮裕之(埼玉大学)・松本菜苗(埼玉大学大学院生) 授業研究に関する日本の教員の意識について</p>	<p>辻本亜希(広島大学大学院生) 関数領域における中・高を接続する記号過程に関する研究 ーPresmegの記号論を枠組みとしてー</p>
<p>⑭15:45 ～ 16:10</p>	<p>池田大徳(広島大学大学院生) 道徳教育との関連を意識した算数科の授業づくりに関する実践研究</p>	<p>上ヶ谷友佑(日本学術振興会特別研究員・広島大学大学院生) 標準コンセプトと非標準コンセプトとの比較に基づいた数学教育における教材分析の一視点</p>	<p>大滝孝治(広島大学大学院生) 確率概念の形成過程：高等学校数学教科書の場合</p>	<p>前田一誠(広島大学附属小学校)・山元翔(広島大学大学院生)・平嶋宗(広島大学) 算文章題を対象とした作問学習支援システムの比の三用法に基づく設計・開発</p>	<p>高橋宏明(岡山大学大学院生) 利便性認識を意図した文字式の導入過程に関する研究ーRadfordの記号論的対象化の手段をもとにしてー</p>
<p>⑮16:15 ～ 16:40</p>	<p>岡田光未(広島大学大学院生) 算数学習における名辞の役割に関する研究ー先行研究のレビュー及び今後の研究課題に焦点をあててー</p>	<p>桑原怜那(広島大学大学院生) 高等学校における数学的帰納法に関する研究(Ⅲ)ー構成法と証明法に基づく教材の検討ー</p>	<p>緒方友美(大阪教育大学大学院生) 確率学習における直観と論理の関連に関する研究ーモンティホール問題に着目してー</p>		
<p style="text-align: center;">■ 閉会行事(16:45～16:55) 会場：D会場《L205講義室》</p>					